

奨励賞

作品部門

手を温め、洗い隊

提案の内容

実習中、患者様に手浴を行うとき容器の深さが足りないため、手全体がつかずリラクゼーション効果を与えられませんでした。このアイデアは患者様に楽に手浴を受けていただくためのものです。手浴を行うとき斜めに板をつけることで手首を曲げずに手をお湯に浸けることができます。板の角度は2段階に調整でき、ベッド上の手浴にも対応できるようにしました。さらに容器の内側に目盛をつけることで水量が一目でわかります。



宝陵高等学校 衛生看護科3年 左から

西井 柚希さん
山口 夏果さん
山崎 柚葉さん

- Point 1 衛生的である
- Point 2 高さがある
- Point 3 両手両足を広く、安定する
- Point 4 折りがつけられている
- Point 5 板が調節できている



選考委員長講評

患者様の手足を洗うそのことが、介護にとっては大変なことです。患者様の立場で形状の創意工夫がなされているため、介護される側や介護者の負担をできるだけ少なくしようと配慮されており、ぬくもりを感じる作品となっています。

受賞者のコメント

奨励賞の受賞ありがとうございます。患者様に安全・安楽なケアを提供するために考えたアイデアです。この経験を通して、介護される側や介護者の負担をできるだけ少なくしようと配慮されている作品と重なりを感じています。

天然由来のボールペン

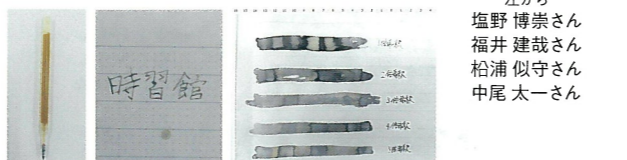
提案の内容

ボールペンを使用した後、インクが無くなった際にリフィルを捨ててしまうことが多く、勿体なく思い再利用を試みました。使用するインクは環境への負荷を削減するため天然由来のもの(茶葉・椎の実・松かさ)から製造したいと考え、「古典インク」に着目しました。使用済みボールペンのリフィルを使用して、インクを注入することで再利用しています。



時習館高等学校 SSH化学部 インク班(普通科)1・2年 左から

塩野 博崇さん
福井 建哉さん
松浦 似守さん
中尾 太一さん



選考委員長講評

「もったいない」の考えは、大切なSDGsの考えです。更に古典インクに着目したことに感心しました。科学的な説明を交えて雄弁に語られたプレゼンテーションも感動しました。その姿に未来の科学者の一端を感じさせられました。

受賞者のコメント

私たちは天然由来の材料でボールペンを再利用する研究を行ってきました。今回の発表でいただいた様々な角度からのご意見を今後の活動に生かし、「天然」の良さを世界に広げていきたいです。

アイデア部門

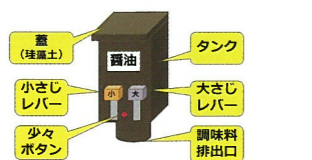
調味量スタンド

提案の内容

調理の時は調味料を一回一回計って容器に移すなど、一つ一つの作業が面倒で洗い物も増えてしまいます。簡単に調味料が計れて洗い物が減る方法はないかと考えたアイデアが調味料の種類ごとに分かれた容器を並べたスタンドです。容器には大きじ、小さじ、少々、大さじ、小さじ、少々、大さじと計量されて出てきます。お皿で受けるだけでなく直接鍋やフライパンで受けることができ、洗い物も減って水の節約にもなります。



豊川工科高等学校 機械科3年 橋爪 泰葉さん



選考委員長講評

調味料入れは、各種ありますがスタンド型であること、調味料を計り入れる際の横方向へのスライドの発想は面白い作品です。少々場所を取りそうですが今後の検討課題とも言えます。なるほどと思う楽しいアイデアです。

受賞者のコメント

毎日の調理が手早く効率的にできるようになるアイデアです。アイデア部門は作品がありませんが、実現性を重視して考えました。

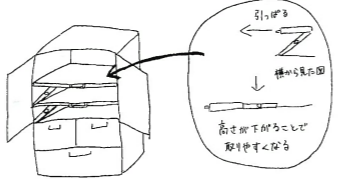
のびーる冷蔵庫

提案の内容

背が低い方にとって、冷蔵庫の一番上の段が見えづらく、手前から見ると奥にある物が見えづらく取りづらく、段を動かせるようにすればいいと考えました。上の段に手が届かない人のために、段を下げられるようにしています。また、段を簡単に引き出せるように取っ手を付け、奥に入っている物を見やすくできるように工夫しています。



豊橋商業高等学校 経理科2年 村瀬 彩弥さん



選考委員長講評

冷蔵庫の中の高い場所にある食料が、無駄なく使い切れたらどれ程家計が助かるかと多くの人が思っていることでしょう。そこに着目したアイデアは評価に値します。冷蔵庫の容量の減少等の課題を抱えています。解決策の一つ一つ具体化する努力をされることを期待しています。

受賞者のコメント

この度はこのような賞をいただくことができ大変うれしく思います。普段の生活の中で起こる食品ロスをなくすためにこのアイデアを考えました。このアイデアが採用され、食品ロスが減っていくことを願っています。

オブザーバー賞

オブザーバー賞とは

地元企業がコンテスト二次審査のプレゼンテーションを会場又はオンラインから観覧し、投票する「オブザーバー賞」を新設しました。令和5年度は、以下の提案が地元企業から選ばれました。

- ◆ 作品部門 …… 「出逢い箸」 ● 豊川工科高等学校
- ◆ アイデア部門 …… 「ハグクマ」 ● 新城有教館高等学校

参加企業 ※五十音順

- 株式会社UHOLABO ● 豊橋商工信用組合 ● 株式会社豊橋テクノサイエンス
- 株式会社プライズメント ● 松井建具店 ● 村井社会保険労務士事務所
- 株式会社柳伸建築設計事務所

豊橋市産業部商工業振興課

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地
TEL ● 0532-51-2435 URL ● <https://www.city.toyohashi.lg.jp/7303.htm>
FAX ● 0532-55-9090 E-mail ● shokogyo@city.toyohashi.lg.jp

※誰にでもわかりやすい「カラーユニバーサルデザイン」を採用しています。

令和5年度 高校生ものづくり アイデアコンテスト 受賞者決定!!

コンテストのねらい

将来を担う高校生のみなさんが、SDGsを推進する取組やものづくりへの関心を持つとともに、探究心や創造性に富んだ人材を育成することを狙いとしています。

令和5年度は作品部門には3校19点、アイデア部門には6校364点の応募があり、書類審査、プレゼンテーション審査を行い、各部門5点の入賞が決定しました。



高校生と地元企業の交流会の様子

NEW

- ◆ 地元企業の方が高校生の考えた作品・アイデア10点のプレゼンテーションを観覧して、「オブザーバー賞」を決める投票を行いました。
- ◆ 投票後にはプレゼンテーションを行った高校生と地元企業の方が交流会を行いました。

令和6年度について

- ▶ 高校生の方へ……令和6年6月頃に募集リーフレットを配布し、令和6年6月～9月中旬にかけて作品・アイデアを募集する予定です。
- ▶ 地元企業の方へ……令和6年8月頃からプレゼンテーション観覧企業を募集する予定です。

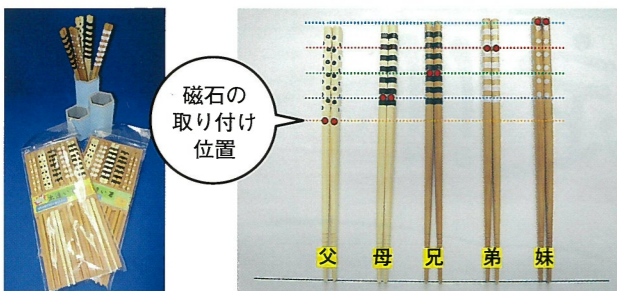
豊橋市

最優秀賞

出逢い箸



豊川工科高等学校 機械科3年
左から
関原 彩斗さん、橋爪 泰葉さん



選考委員長講評

完成された作品です。磁石の強さや位置の関係などの問題等もしっかり視野に入れた、すばらしい作品です。さらに、特許等の調査がされており、独自性も確保されています。また、商品化も見据えた完成度の高いものとなっています。

提案の内容

日常生活で、食事の前にお皿や箸を準備しています。一般家庭では、箸を箸立てに立ててあります。そこから抜き取り決められた箸を食卓の上に置きます。しかし、箸立ての中から箸のペアを探すのは大変です。そんな、準備の大変さを改善するために考えたアイデアがこれです！すでに商品化されたものとの違いは、一般家庭で箸立てに立てた箸を、使う人専用の組み合わせに一瞬で見つけだせることです。

受賞者のコメント

最優秀賞に選んでいただきましてありがとうございます。このアイデアは、試作段階で多くの人から支持してもらえました。とても実用的で、便利なアイデアなので、是非製品化まで進みたいと思います。

ハグクマ



新城有教館高等学校 総合学科3年
城本 遥香さん
ハグクマって？



電話がつながると・・・

ぬいぐるみから
ぬくもりを
感じることができる！！

選考委員長講評

寂しさと不安を癒してくれる優しいハグクマは、全ての人にとって心休まるものとなるでしょう。また、緊急時には電話にも早変わりし、ぬくもりを感じながら声を聞く発想はすばらしいと思います。今後のITを組み込むなどのアイデアが楽しみです。

提案の内容

私はおばあちゃんやおじいちゃんになかなか会えなく寂しい思いをしています。おそらくおばあちゃん、おじいちゃんの方がもっと寂しい思いをしていると考え、寂しい心を埋める商品としてハグクマを考えました。普通のぬいぐるみとは違ってハートのところを押すと家族に電話につながり、体温に近いぬくもりを感じながら会話ができます。耳にはスピーカーも付いていてまるで子どもと話をしている気分になれます。

受賞者のコメント

この度はこのような賞をいただき、ありがとうございます。ハグクマは電話をしている間、ポカポカとぬくもりを感じることができるぬいぐるみです。離れて暮らしている祖父母のことを想いながら考えました。

優秀賞

機能が三つそくよっくん

作品部門

提案の内容

患者様の足を洗っているとき「足がつかない」、「バケツが大きくフットレストの間に足がうまく入らない」、「湯が冷めてしまう」との意見があったのでなんとか苦痛を軽減できないかと思いこのアイデアを考えました。足を上げにくい患者様に対して足場を引き出すことができ、必要のない場合は足場を取り外せます。また、バケツにシリコン素材を用いたため、変形でき、さらに内側にアルミ素材を使用して保温性を高めています。



宝陵高等学校 衛生看護科3年
左から
桐生 真旺さん
川熊 那奈さん
成清 エリカさん



選考委員長講評

保温効果を深く考えたアルミの使用は良い発想です。また、足が支えられるように配慮されたことも患者様のことを考えた温かさを感じます。常に患者様のことを思い、少しでも相手の立場に立って看護を提供できるよう様々な工夫のある研究となりました。

受賞者のコメント

患者様に安楽に足浴を行って欲しいという思いからこのアイデア作品を作製しました。優秀賞を頂くことができ、とても嬉しく感じています。今後も、相手の立場に立って看護を提供できるよう様々な工夫を考えていきます。

悲劇を起こさせないズボン

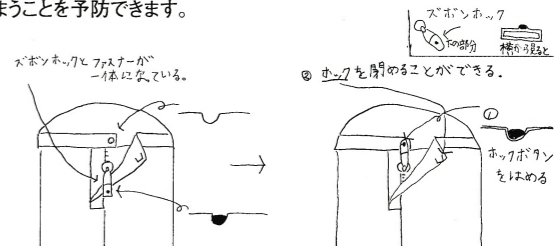
アイデア部門

提案の内容

駅のトイレに行こうとしたときに、ズボンのファスナーが開いている状態で出てきた人がいて、そういったミスを防ぐ方法として考えたアイデアです。ズボンのホックとファスナーを一体化させることによって、トイレ後のファスナーの閉め忘れ、ファスナーが経年劣化によって落ちてきてしまうことを予防できます。



豊橋商業高等学校 経理科2年
寺本 直輝さん



選考委員長講評

とても合理的でユーモアを感じる作品です。ズボンを履く際、ファスナーの引き手をズボンのホックにはめる手順が必要となる仕組みに着目した作品で感心しました。また、作品部門としても評価できる興味ある作品だと思います。

受賞者のコメント

今回はこのような賞をいただき誠に光栄です。この「悲劇を起こさせないズボン」は普段の何気ない日常から思いついたアイデアです。このアイデアで一人でも悲劇を味わう人が減ることを願っています。

入選

作品部門

時習館のユリノキ“落ち葉”染めエコバッグ

提案の内容

時習館のユリノキ並木の落ち葉の抽出液を染料として使用します。木綿や絹を染めることができ、葉の色素のみで染めると淡いピンクベージュに染まりますが、金属イオンを使って媒染することで黄土色やピンク色、緑色、鼠色にも染めることができます。SDGsの実現をめざして、廃棄物である落ち葉を染色材料として有効活用することを提案しました。



時習館高等学校 SSH生物部
(普通科)2年
後列左から
峯田 結衣さん
平野 沙季さん
前列左から
池田 綾花さん
木村 友里笑さん



選考委員長講評

落ち葉を使ったエコバッグの染色は、大変興味・関心があります。落ち葉を使用する考えに至ったことや染色方法を工夫しながら完成品を販売するまでの熱意に敬意を表します。今後もこの研究を後輩に引継ぐとともに、理化学に興味を持つ若者が増えることを期待しています。

受賞者のコメント

この度は、このような賞をいただき誠に光栄です。今後も時習館のシンボルツリーであるユリノキの落ち葉の有効活用を通して、先輩方から受け継いだユリノキ染めと時習館の魅力を伝えていきたいです。

光るカステラつるりん

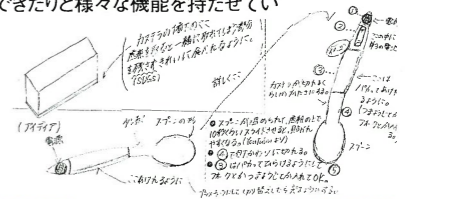
アイデア部門

提案の内容

小さい子が紙を食べてしまうからカステラを食べられない、手が汚れるからカステラの購入を控えてしまう、カステラの一番美味しい底部分が残ってしまうといった悩みを解決するためのアイデアです。スプーンの裏を温めてカステラの底紙にスライドさせ、きれいに紙を取るようにしています。また、スプーンの先端を6色に光らせペンライトとしても使用できたり、フォークや楊枝を収納できたりと様々な機能を持たせています。



豊橋商業高等学校
総合ビジネス科2年
加藤 愛菜さん



選考委員長講評

カステラをすっきりと剥がせる方法に着目したことは、すばらしいことです。スプーンを温めることによって簡単に剥がせるようになり、また、光るスプーンも楽しめるなど幅広い発想と熱意の高さを感じました。今後のアイデアが楽しみです。

受賞者のコメント

「光るカステラつるりん」は、カステラの紙の部分の所まで食べたい!という願望と、カステラを食べたときに起こった出来事・体験をもとに思いつきました。光るスプーンにすることで小さい子もおもちゃとして使えて一石二鳥かなと思いました。